ヤギ小屋はどう作るの？

ーHow do you build a goat hut ?ー

広島ミニヤギ牧場　代表
１級愛玩動物飼養管理士 **菅原　常司**

１　はじめに

牧場には，見学や電話，メールで『ヤギとふれあいたい』，『草刈りが大変でヤギに除草を』，『ヤギのきゅう肥を利用した有機農業を』，『ペット（愛玩動物）に』，『癒やしにレンタルを』，『イベントでヤギを』，『種付けをしたい』など，いろいろな相談があります。また，『ヤギを飼う小屋はどうすればよいですか？小屋の大きさ，広さは？』，『ヤギの餌は？』，『必要な道具は？』『病気やケガをした時は？』という質問が寄せられます。さらに，『ヤギをレンタルして除草をしたいが，休みの日はいません。ヤギ小屋を建て，柵をすれば人がいなくてもだいじょうぶですか？』という問い合わせもあります。そんな時，「様々な目的でヤギを飼う方，夢や希望をもって，これからヤギを飼おうと考えていらっしゃる方に十分な応対をするのは難しいな。」と感じます。それは，販売，レンタルをする以前に，生き物の生命を預かる自覚，ヤギの知識や放牧する場所の状態，病気，事故やケガ，脱柵，飼う場所の広さ，周囲の様子（野犬，カラス，住民の方の理解），飼養環境（湿気，毒草，飲み水の確保），毎日のお世話など，メールや電話での説明では十分に伝えきれないからです。

今日のテーマは，「ヤギ小屋はどう作るの？」です。私は大工さんではありませんので，これまで建てたヤギ小屋，放牧やレンタル除草，イベントの際に使った小屋，必要な道具の紹介など，これまでのつたない経験をふまえながら提案をさせていただきます。少しでも，ヤギ小屋作りの参考になれば幸いです。

２　広島ミニヤギ牧場＆菅原オレンジ農場　ー笑顔になり，ヒトが集まる場所にー

広島ミニヤギ牧場は，広島県呉市下蒲刈町の大地蔵地区にあります。海の見渡せる小高い丘の，みかん園の中にある小さな牧場です。５年前から，「ふるさと再生ヤギプロジェクト」を立ちあげ，「ヒトを集める」のではなく，「笑顔になり，ヒトが集まる場所に」したいと考え，取り組んでいます。今，牧場には，雌の成ヤギ４頭，雄３頭，子ヤギ２頭（雄１頭，雌１頭)計９頭を育てています。私とヤギのなりそめは，担任したクラスに２名の不登校児童がいたことがきっかけです。子供たちが学校へ来られるようにと，２００７年に１頭の雌のシバヤギを，住宅地の中にある我家の駐車場に犬小屋を置き，飼い始めました。毎朝，ヤギといっしょに登校し，子供たちにお世話をしてもらいました。その結果，不登校だった子供に笑顔が戻り，無事卒業することができました。その後，ヤギの頭数も増え，畑にヤギ小屋を２棟建て，耕作放棄された田んぼやあぜ道をヤギと除草しました。退職後は，島へ帰り，みかん園にログハウスをセルフビルドしました。そして，畑の周囲にワイヤーメッシュ（鉄柵）を張って，ヤギ小屋を建て，みかん園の再生に取り組みました。ヤギといっしょに畑や荒れ地を整備し，紅みかんやレモンの苗木を植え，３年半が過ぎました。また，ヤギの「販売・展示・貸し出し」の資格をとり，トカラヤギとシバヤギの繁殖，イベントの参加，ヤギの販売，レンタル，里親（保護)，種付けをしています。現在は，みかんやレモン，野菜を直販やスーパーの産直市場で販売するかたわら，小・中学生の地域学習，農業技術の指導もしています。春はみかんの花の花見，海でワカメとり，夏は釣り，シー

カヤック体験，レモン園でキャンプ＋昆虫採集，秋は，みかんとレモンの収穫体験，栗ひろい，イチジクとりなど，１年を通して様々な体験ができるヤギ牧場をめざして取り組んでいます。また，呉市動物愛護センターと連携をとりながら，「命の教育」や「動物愛護の啓発活動」など，動物福祉の普及に協力しています。今年は，竹林にヤギを放牧して整備し，みかん園に変えるプロジェクトに挑戦中です。

３　「ヤギを飼いたい」と思ったら

（１）　ヤギを飼う前に

ヤギを飼う前に，ヤギを飼って何がしたいかを考え，次に，自分がヤギを飼いたいという意思と家族の協力が大切です。また，飼育する土地の広さ，周囲の環境，自分の目的に合った品種や性別の選定，飼う頭数，ヤギ小屋を考えます。そして，小屋を建てる時は，土地の風土や気候，近隣の方との相互理解が必要になります。

ーヤギを飼いたいと思った時，考えてほしい７つのポイントー

①あなたは，ヤギとどのように暮らしたいですか？　…(飼育目的・飼う自覚)
②家族はヤギを飼うことに賛成し，協力体制がとれますか？…（家族の理解）
③一戸建てか,集合住宅(飼育の許可の有無)ですか？　…（飼育する頭数・場所）
④飼育環境(広さ，騒音・悪臭問題)はだいじょうぶですか？…（近隣住民の理解）
⑤一人暮らしですか，お年（年齢）は？…（飼えなくなった際の支援，ヤギ寿命）
⑥ヤギを理解し，適正な飼い方，健康管理ができますか？ …（命を預かる気配り）
⑦責任を持って，最後まで飼う「意欲」（覚悟）はありますか？…(終生飼養の原則)

（2）　アニマルウェルフェア（動物福祉）「５つの自由」

ヤギを飼いたいと思ったら，ヤギの命を預かる視点から，動物福祉（アニマルウェルフェア）を考慮することが大切だと思います。

５つの自由　ー命を預かるということはー

①十分で「清潔な餌と水」があること　…（飢えと渇きからの自由）
②快適で「過ごしやすい飼育環境」であること　…（不快からの自由）
③けがや病気は「治療される」こと　…（傷害・病気からの自由）
④「恐怖や苦痛」にさらされないこと　…（恐怖・苦痛からの自由）
⑤正常な行動ができる広さ・刺激があり，仲間がいること …（正常行動への自由）

４　ヤギのおうちを作る前に

①悪臭（糞尿）や騒音（鳴き声）でトラブルが起きない場所を選ぶ。（発情，鳴き声）
②日影のできる，風通しの良い，湿気の少ない場所を選ぶ。
③建てる方位を考え，風で部屋に雨や雪が降り込まない工夫をする。
（夏に直射日光が入らず，冬は日が入る場所，寒い地域では，冷たい風が吹き抜けないよう四方を板張りに）
（暖かい地方では，夏に直射日光が射さない所で，冬に良く日光が当る所を）
（雨風，強い日差しを防ぐため，出入り口や窓の上に，小屋根（ひさし）を取り付け，軒を長くする）
④蚊やハエ，アブなど虫除け対策をする。（網戸の取り付け，蚊取線香，ハエたたき）
⑤小屋が長く使える強度のある材料を使う。（丸太，防虫防腐剤を塗る，単管パイプ，トタン）
⑥野犬，脱柵に備えるため，柵やドアは丈夫なものを使う。（ワイヤーメッシュ）
⑦掃除や水かえが楽にできる設計，道具の工夫をする。（部屋の高さ，スノコ，鉢置き台）

5　習性からヤギのおうちを考える

ヤギは湿気と暑さを嫌い，臆病な性格なので、安心できる，落ち着いて休める工夫をします。また，ヤギは「ここ！」って決めた場所にこだわりを持ちます。

①危険や不安を感じないように

ヤギは警戒心が強く，臆病（大きな音，聞き慣れない音，知らない人，初めての環境）です。高い所が好きで，環境が変わることを嫌います。子ヤギがいると野犬，カラス，キツネやタヌキなど，肉食動物から守る必要があります。そこで，周囲の様子を確認できる窓を付けたり，高い場所へ逃げられる高台を作ったりします。さらに，威嚇や急に大きな音がすると危険を感じ，小屋の中から出て来なくなり，いつも周囲を警戒する状態になります。そのため，安心して活動できるように，小屋の周りには丈夫な柵を設置します。

②日射病／熱射病や病気にならないように

ヤギは，暑さと湿気（ジメジメ）が苦手。そこで，夏は日陰のできる場所や辺りが水たまりにならない，風通しが良い場所を選びます。夏は日差しが強いので，日よけ用のシートを設置します。また，床にコンクリートを張ると掃除は楽です。ただ，水洗いするとジメジメするので「スノコ」をしきつめる方法もあります。

③悪臭や害虫の発生

ヤギは，蚊やアブ，ハエなどが周りにがいると気になって安心して餌を食べたり，休んだりできません。そこで，床は地面から高くします。ブロックなどの上（床から約30cm）に合板，スノコを置いたり，コンクリート張りにしたり，わらやかんなくずなどを敷きます。小屋の周りは，雨水が入らないよう溝を掘って，高低差をつけるようにします。地面に大量のフンや食べ残しが積み重なってくると，蚊やはえなどが発生し，糞尿の匂いもするようになります。周辺に住んでいる方とトラブルが起きることのないよう，掃除がしやすい小屋の設計（高さ，広さ）をします。

④餌箱，鉱塩の位置

ヤギは，草をひっぱりだして踏んだり，餌入れにおしっこをしたり，その中に入って休んだりします。下に落ちた草は絶対に食べません。そこで，餌箱（餌入れ）は，ヤギの首の高さ位に取り付けたり，餌用の箱は地面より高く置いたりします。「鉱塩」も汚れたり，湿気の多い梅雨時期は溶けたりするので，ケースや園芸用プランターに入れ，高い位置に置きます。鉱塩は，餌台の近くに置きます。

⑤十分な食事がとれるように

ヤギを多頭飼いすると，頭突きをして順位争いを始め，強いヤギから食事をします。メスだけの集団では，年の多いメスから食べます。そのため，弱いヤギは，餌を食べる場所がなくなり，餌箱が少ないと弱いヤギに食事の順番が回ってこなくなり，十分な食事がとれないために生育が悪くなってしまいます。そこで，ヤギ同士がとりあいにならないよう，長い餌入れや幅を広くしたり，飼育頭数分，餌箱を置いてあげたりします。

また，子ヤギが餌を食べ始めるようになると，大人のヤギが追い払ってとりあいを始めます。ケガや事故のないよう，子ヤギの食べる餌入れや子ヤギ専用の場所を作ってあげると良いです。

⑥飲み水が汚れないように

飲み水は，ゴミ，フンやおしっこの入らない，高い所や日光の当らない場所に置き，毎日新しい水に取り替えます。そして，水がえがしやすい道具の工夫や水の確保ができる場所の近くへ小屋を建てます。

⑦台風や大雨の被害，災害に強い小屋に

湿気を防ぐため，市販の基礎台やブロックの上に柱を立てます。また，部屋の中に日差しや雨が入らないよう，軒（ひさし）を長くします。特に，窓や出入り口を作る際には，ヤギの背の高さを測り，高さや方位を考えて建てます。

⑧丈夫な材料を使う

ヤギは，ものを壊すのが得意。角や体でものを「押しつける，こすりつける，頭突きをする」，板や柱，ベニヤを「かじる」という行動をします。そこで，太い木材や単管パイプなど，丈夫なものを使います。屋根の高さが低いと角で壊したりするのでトタンを使い，ヤギが背伸びしても届かない高さにします。また，柵を作る際，竹や木材，板だと長い間使っていると腐ってしまいます。木材に防虫防腐剤やペンキを塗ると良いと思います。ヤギは，脱柵名人。ワイヤーメッシュを使う場合は，目の細かいサイズを使います。柵の高さは，約1.2m～1.5mです。日本ザーネンでは（１２０㎝）シバヤギ（９０㎝）が基本。ワイヤーメッシュでは，鉄筋の支柱を立て，ステンレスの針金で固定します。イノシシが侵入する所では，ワイヤーメッシュの下の部分は地面を掘って設置し，横に鉄筋を取り付けて補強し，イノシシが引っ張っても曲がらない工夫をします。

⑨遊具，遊び場の工夫

ヤギは，高い所が大好き。多くの時間，反芻したり，お昼寝をしたりします。そこで，短く切った丸太を縦に置いたり，電線を巻いてあったロールや箱，古いテーブルなど，高台を置いて遊ぶ所を作ると喜びます。

６　ヤギ小屋作りの具体例

（１）頭数が少ない場合

ヤギ小屋は，ヤギの体格にもよりますが１頭に約2㎡の広さです。目安としてコンパネ１枚と考えたら良いと思います。運動できる場所は7～８㎡の面積を確保します。コンパネは1.62㎡(縦182ｃｍ×横91ｃｍ）で真四角に２枚合わせて約１坪（３．３㎡）です。

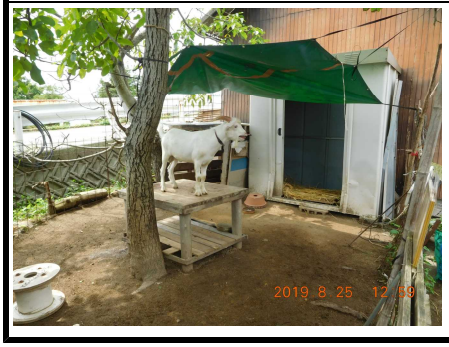
①納屋を改装（ｺﾝｸﾘｰﾄや土間の場合，ワラ，スノコを敷き，体が冷えるのを防ぐ）

１～２頭飼う場合は，納屋を改装します。風通しが良いようにワイヤーメッシュを張り，床にスノコを敷き，掃除がしやすくしました。

【使用した道具】丸ノコ，ｲﾝﾊﾟｸﾄﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ，ノコギリ，ハンマー，水平器，サシガネ，メジャー，コードリール，下げ振り，鉛筆，＋ドライバービット（２番），木工ドリル

【材料】２×４材，垂木，コースレッドビス１箱，蝶番（２），U字釘，ワイヤーメッシュ

②古い「スチール製の物置」



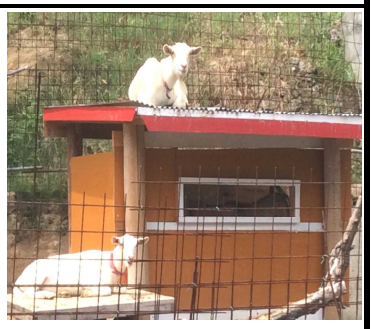
③犬小屋（大型犬用）

④犬小屋（小型犬用）

⑤木製パレット３枚を利用	⑥壁の利用（単管ﾊﾟｲﾌﾟで）	⑦壁に屋根を取り付ける
屋根にはトタンを張ります。冬は，両面に合板ベニヤを取りつけ，地面にスノコをしきます。	単管パイプ用基礎石，床と壁はコンパネ，屋根はトタン板，床にスノコ。周りは防虫ﾈｯﾄを。	壁面を利用する場合は，軒を長く伸ばし，床を高くして，雨どいを取り付けます。
⑧一番最初のヤギ小屋 風通しを考え，ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙで	⑨自動車で移動用の小屋 柵は，下ろして小屋に利用	⑩ﾚﾝﾀﾙ除草用の小屋 自転車用のパイプ倉庫

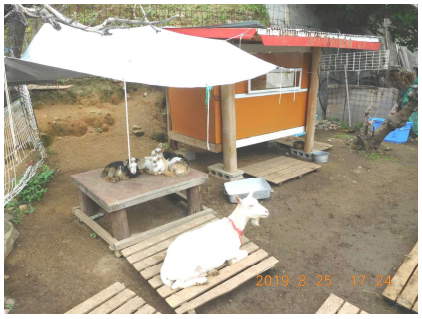
（２）頭数の多い場合

高床式で床の高さ約30cm，壁面に杉板やコンパネ張り，浪板（屋根用）２×４材

⑪ミニヤギ牧場全景（放牧場）	⑫ヤギの長屋（２×４材で）	⑬ログハウス（板を組む）
⑭コテージタイプ①丸太使用	⑮コテージタイプ②	⑯コテージタイプ③正面
		
初めに防腐防虫塗料を塗り，外が見える小窓の取りつける。	軒は長く，入り口は東に向くように。屋根に上がる階段も。	トタン屋根で，休憩できるように傾斜を緩やかに

コテージタイプ③長い窓	コテージタイプ③出入り口	コテージタイプ③床にスノコ

(3)あると便利なもの

①木製の高台（60～70cm）	②水バケツ（園芸用の台）	③植木鉢をふせ蚊取線香
④狭い部屋を三段に仕切る	⑤日よけシートとスノコ	⑥手作り餌箱と餌の台
		

（4）小屋作りの作業行程

①水平器でブロックの上に丸太を垂直に立てる。内側に垂木（たるき）を水平になるようして，木ねじで留める。そこに合板を張り，床を作ります。	②屋根の骨組みは垂木と２×４材で組み，その上に合板を張る。さらに，雨が上から入らないよう軒に杉のラス板を前側と後ろ側に張ります。	③雨漏りを防ぐため，合板を張った上に防水シートをタッカー（ホッチキス）で留めます。

強い日差しや雨風を防ぐために，ひさしは長めにとります。	壁は，外側に垂木をうち，合板や杉板をビスで留めます。壁の上はすき間を開けて風通しが良いようします。	最後に，トタンを張ります。出入り口は，南か東を向くようにして西日をさけるようにします。

自作のヤギ小屋は，低コストで頑丈，毎日のお世話や掃除のしやすさが理想です。ただ，材木や木ねじ，合板，トタンなど，費用はそれなりにかかります。私は，サイズが一定な，垂木や2×4材，合板，床にコンパネを使うようにしました。材料費を安くするために，解体した際に出る材木や板，トタン，ブロックをもらい受けたり，流木を海岸にひろいに行ったりしました。苦労したのは，水平，垂直をだすことや屋根のトタンを張る作業です。失敗例は，安いからと屋根材を「ポリカ製の波板」を使ったので，破れて補修することが多く，張り替えや破片の処理に困りました。また，床からの屋根の高さを低く作り，ヤギが角で壊したり，腰をかがめての掃除が大変でした。そして，小屋の向きを考えず，屋根のひさしを短く作ってしまい，強風で雨が部屋に入ってヤギが濡れてしまうこともありました。その後改良したことは，木材は，何年かすると経年劣化するので，長く使えるよう防虫防腐剤や明るい色のペンキを塗ったことです。また，柱は丸太や太い柱を使い，屋根材は丈夫なトタンを張るようにしました。さらに，梅雨の長雨や雨の日でも，濡れないでゆっくり餌が食べられるように「単管パイプを使って屋根のある広いスペース」を作りました。

7　終わりに

ヤギの病気の原因には，住居環境・生活環境，餌に起因することがあると思います。例えば，排泄物の上に直接ヤギが寝てしまうと体が冷え，著しく汚れて不衛生になります。床が低いとジメジメして，ストレスを持ちます。また，雨が続いて部屋に水たまりができると，ひずめが濡れ，傷があると病気になります。夏の炎天下，日影で休む所がないと熱中症にもなります。さらに，窓を作り，床にスノコを敷いて通気性を良くして，清潔に保たないと餌にカビや蚊が発生しやすくなります。このような住居環境では，ヤギがストレスを感じ，体調不良（食欲不振），反芻機能低下，下痢などを引き起こしてしまいます。これまで，多くの失敗から補修をしながら「ヤギがゆっくり反芻し，横になって休むことができるように，いろいろなタイプのヤギ小屋を手作りしてきました。自分でヤギ小屋を手作りされ方は多いと思います。ヤギのことを考えて自分なりの工夫を凝らした「ヤギのおうち」にチャレンジしてみてください。ヤギ飼いライフも楽しくなります。ヤギを飼うと，大変なこともいっぱいありますが，ヤギと過ごす日々の生活の中に，心のやすらぎや優しさをもたらしてくれます。そして，穏やかな時間や小さな喜びを見つけることができます。毎日の単調な農作業の中にヤギがいると，話し相手や遊び相手になってくれ，さみしくありません。トカラヤギの元気くんに『元気～！』と呼ぶと「メェ～」と応えてくれ，私が元気をもらいます。ほっとする瞬間があり，生活にほのぼのとした温かさを醸し出してくれます。これからもヤギと何ができるかを模索しながら，日々革新し続けたいと思います。